

# おすすめ 資材

藤枝営農経済センターが  
おすすめします！



- ◎資材名  
「ブラドミン-PK」
- ◎価格  
20kg 1,750円(税込)
- ◎特徴

有機質100%の原料から生まれた特殊肥料。化学合成肥料を含まず、リン酸とカリ成分以外にも多種のミネラル成分を含んでいるため、作物の品質向上や増収、耐病性改善の効果があります。

成分

チッ素	0%	石灰	28%
リン酸	20%	ホウ素	0.1%
カリ	18%	マンガン	0.2%
苦土	6%	ケイ酸	1.5%

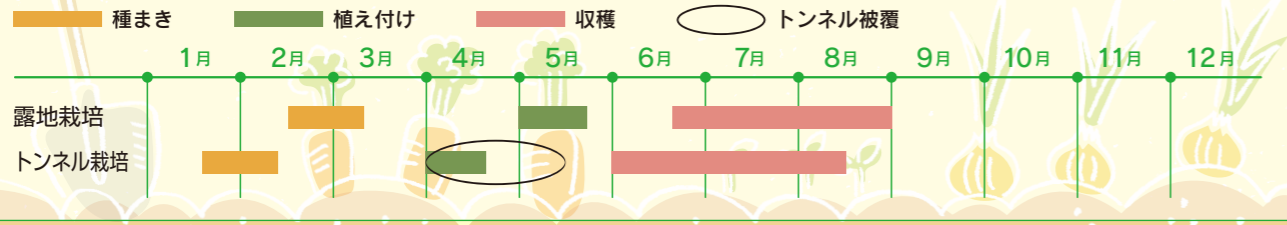
◎使用方法  
どんな作物にも使えますが、チッ素成分がないため、マメ類やサツマイモなどの作物におすすめです。

10aあたりの使用量

水稲	60kg~100kg
葉菜類	ネギ、レタス、ハクサイなど 60kg~80kg
根菜類	ニンジン、ダイコンなど 80kg
果菜類	キュウリ、ピーマン、トマトなど 80kg
果樹類	柑橘、ブドウなど 100kg

詳しい使い方や使用量は、  
最寄りの営農経済センターへ

## 栽培カレンダー



## ④ ホルモン散布

第1花房の第1花を確実に着果させることが重要になるのでホルモン剤(トマトーン100倍)を散布します。複数回のホルモン処理は奇形果になることもあるので避けましょう。



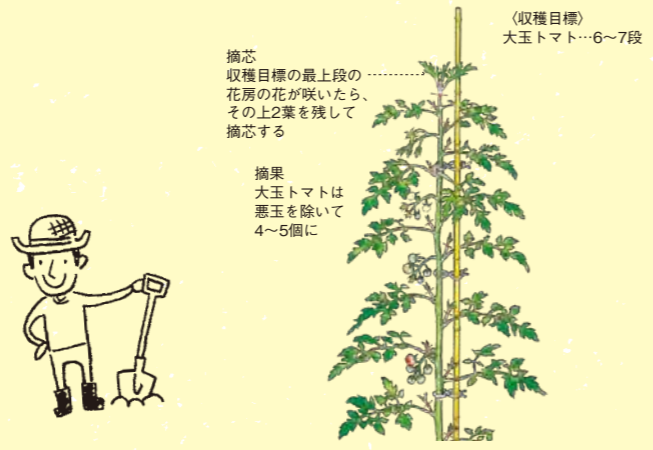
## ⑤ 追肥

1回目の追肥は第1花房および第3花房がピンポン玉程度の大きさになってから行います。1㎡当たり2g程度施します。2回目以降は草勢を見て判断してください。



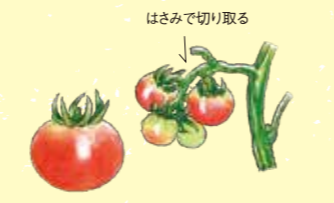
## ⑥ 摘芯・摘果

収穫目標の高さになったら、最上段の花房の上2~3枚残して主枝を摘芯します。1つの花房に多く着果した場合は、4~5果になるように摘果してください。



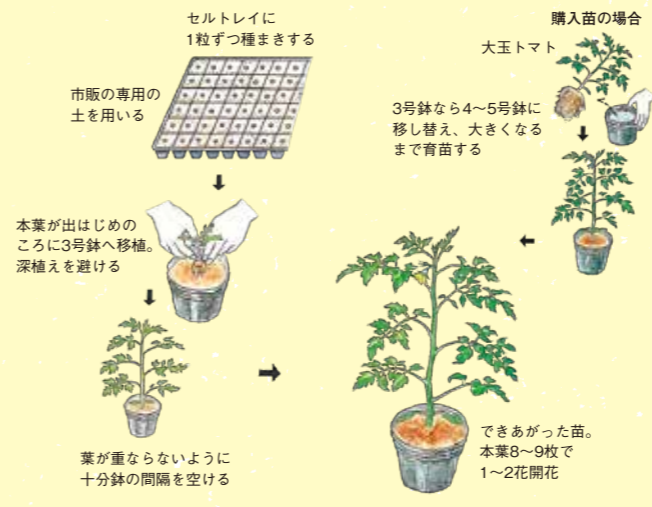
## ⑦ 収穫

開花後60日(夏は35日)くらいで色づきます。完熟させてから収穫しましょう。



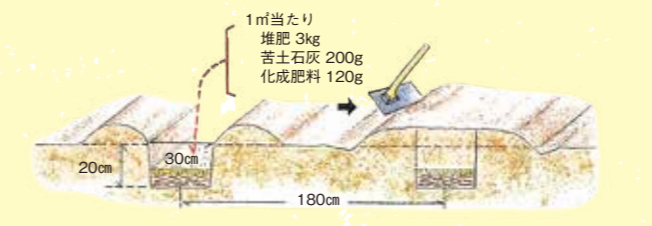
## ① 苗づくり

種まきはセルトレイを使用し、1穴に1粒まきます。本葉が2~2.5枚の時に鉢上げします。種まきからおおよそ75~80日かけて本葉8~9枚の苗に仕上げましょう。購入苗で鉢が小さい場合は、生長に合わせて植え替えてください。



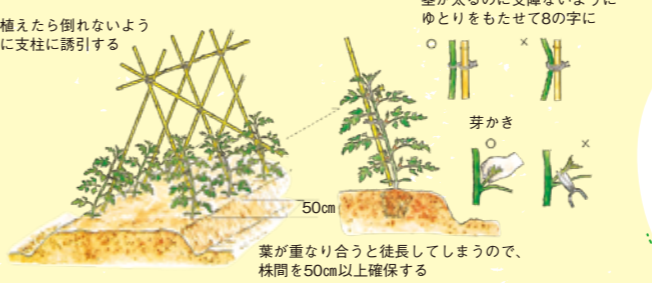
## ② 畑の準備

植付けの半月前に肥料をまき、よく耕します。元肥はやや控えめにし、様子を見ながら追肥で補いましょう。



## ③ 定植・支柱立て

第1花房の1~2番花が咲き始める本葉8~9枚、茎の太さが8mm程度で植え付け適期です。合掌式に支柱を立ててから花房を通路側に向け定植します。20~30cm間隔で8の字になるように誘引し、本葉のつけ根から出るわき芽をすべてかき取りましょう。



Point! 白黒色マルチやシルバーマルチを使用するとアブラムシの被害を軽減できます。

# はたけ日和

おいがわ 今月の作物



# トマト

・植物分類 ナス科 ・原産国 南米アンデス山地

ビタミンCに加え、カロテンも豊富に含み、生食から調理、加工用にも使われる人気の高い野菜です。生育適温は夜温で13~18℃、昼温で26~28℃です。大玉や中玉、ミニトマトなど大きさだけでなく、桃色や赤色、黄色など様々な種類がありますので、好みの品種を選びましょう。

定植初期の水やりは根付いていないため必要ですが、基本的には毎日与える必要はありません。土の表面を触って、乾いていたら水を与えましょう。また、トマトは病気が発生しやすいので、事前に防除し、葉面石灰肥料を施用しましょう。



藤枝営農経済センター 金澤 美駒